

2025年度 入学生用 芸術学部 音楽学科 カリキュラム・ツリー

必修科目 必修選択科目 選択科目 一部のコースで必修科目

学修目標

音楽に関する基礎全般を概観し、楽曲演奏の技術と音楽性を修得する科目が基礎から順次配置されている。演奏創作コース、ミュージカルコース、音楽教育コースそれぞれに適した実技科目を1年次から積み重ねることで演奏に対しての専門的レベルを理解し、実演し、またその専門的レベルを他者に教えることができる。

音楽に関する基礎全般を概観し、知識と理論を修得することが出来る科目が配置されている。演奏・創作コース、ミュージカルコース、音楽教育コースそれぞれの学生に適した内容の音楽史、ソルフェージュ、音楽理論等が用意されており、知識を身につけることができる。また音楽教育コースの学生が、音楽教育者として必要な基礎力、応用力を修得することが出来る科目が用意されている。

現代を生き抜く者として必要な知識、言語力、論理的思考力、マネジメント力、コミュニケーション力を身につけることが出来る科目が用意されている。更に他者と協働しながら主体的に取り組むプロジェクト型及び演習形式の科目が有り、その修得により生涯に渡り積極的に学び続ける学習力を身につけることが出来る。

ミュージカルコースの学生が将来舞台人として活躍出来るように、演劇・舞踊学科の科目から必要な科目を音楽学科ミュージカルコースの学生も履修することが出来る。これらの科目を履修することで、ミュージカルの舞台上で活躍できる基礎力と応用力を身につけることが出来る。上級学年では実際の舞台を作り上げる実技・実習型の授業が用意されている。

音楽教育コースの学生が教育者として教壇に立つための教職科目である。これらの科目を修得することで教育者としての基本概念を身につけることが出来る。

1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
第1 セメスター	第2 セメスター	第3 セメスター	第4 セメスター	第5 セメスター	第6 セメスター	第7 セメスター	第8 セメスター
アンサンブルⅠ 鍵盤楽器基礎 音楽専門実技Ⅰ 器楽基礎 A 声楽基礎 A	アンサンブルⅡ 器楽基礎 B 声楽基礎 B 音楽専門実技Ⅱ	器楽基礎 C 声楽基礎 C アンサンブルⅢ 音楽専門実技Ⅲ	器楽基礎 D 声楽基礎 D アンサンブルⅣ 音楽専門実技Ⅳ 第九演奏表現 A	演奏・創作Ⅰ アンサンブルⅤ 器楽Ⅰ 声楽Ⅰ 歌曲伴奏法	演奏・創作Ⅱ アンサンブルⅥ 器楽Ⅱ 声楽Ⅱ 第九演奏表現 B	演奏・創作Ⅲ アンサンブルⅦ 器楽Ⅲ 声楽Ⅲ	卒業演奏・卒業創作 アンサンブルⅧ 器楽Ⅳ 声楽Ⅳ 第九演奏表現 C
芸術概論 音楽理論 ソルフェージュⅠ 音楽史 和楽器指導法(管・絃・打)	ソルフェージュⅡ	音楽文化論 和声学Ⅰ 音楽科指導法Ⅰ	日本音楽史 器楽教育法Ⅰ(管・打・合奏) 創作教育法 音楽科指導法Ⅱ 和声学Ⅱ	指揮法 民俗音楽概説 音楽科指導法Ⅲ 歌唱教育法(合唱) 伴奏法 器楽指導法Ⅱ(リコーダー・弦楽器) 作品理解と作家講読 現代音楽史 対位法	西洋音楽史 楽式論 文献資料講読 音楽科指導法Ⅵ 鑑賞教育理論(音楽)	卒業論文執筆法 作曲法Ⅰ 音楽教育実践法	卒業論文 作曲法Ⅱ
一年次セミナー101(US) 健康教育(US) 音楽Ⅰ(US) ELF 科目100～300番台 人文科学アカデミックスキルズ(ライティング)(US) 美術史(US) インターンシップA～C(US) ことばと文化(US) 国際研究A～F(US) 心理学(US) データ処理(US) マーケティング(US) マルチメディア表現(US) プレゼンテーションスキル(US) 人文科学アカデミックスキルズ(リーディング)(US) コミュニケーション論(US) 倫理学(US)	一年次セミナー102(US) 玉川の教育(US) 音楽Ⅱ(US) ELF 科目100～300番台	ELF 科目400番台 現代文化論(US) 国際関係論(US) 複合領域研究201～299(US)	ELF 科目400番台				
演技・舞踊入門 舞台技術基礎演習 世界演劇・舞踊史Ⅰ	演技・舞踊基礎演習 上演基礎実習 世界演劇・舞踊史Ⅱ	ミュージカル表現Ⅰ 演劇理論 芸術と社会	ミュージカル表現Ⅱ	上演演習 A オーディション演習	上演演習 B 劇場接遇演習	卒業創作・研究 A	卒業創作・研究 B
日本国憲法 教職原理	教職概論 学校体験活動A	教育の制度と経営 学習・発達論 教育方法・技術論 ICT活用の理論と実践	体育 特別支援教育 総合的な学習の時間の理論と方法 特別活動の理論と方法 全人教育論 介護等体験	教育相談の理論と方法 道德教育の理論と方法 教育課程編成論 教育実習(事前指導) 学校体験活動B	生徒・進路指導の理論と方法 教育実習		教職実践演習

ディプロマポリシー (DP)

【DP1】

音楽に関する専門的な技術及び知識を身に付けるとともに、自然・社会・多文化・異文化と関連させながら理解することができる。

【DP2】

音楽の専門的な知識・技能をもとに、多様化する社会の諸問題に対し、解決しようとする意志を持ち、認識、分析、解決するための言語力、論理的思考力、マネジメント力、コミュニケーション力、および表現力を身に付けている。

【DP3】

音楽の専門的な知識・技能を生かし、社会人としての倫理観と責任感をもち、生涯にわたり積極的に学び続ける生涯学習力を身に付けている。

【DP4】

進化する社会の音楽活動に携わり、国際的な視野を持ち、他者と価値観、倫理観を共有し、音楽を通して社会に貢献する意識をもつことができる。